広報

まくべつ

わたしたちのまち
（昭和62年８月１日現在）

人　口	21,720	（－ 4）
男	10,611	（＋ 3）
女	11,109	（－ 7）
世帯数	6,682	（－ 8）

―人のうごき（７月中）―

転入	47人	転出	68人
出生	26人	死亡	9人

生きる喜びを創造するまち・幕別町（新総合振興計画）

お友達になっちゃった

ここは幕別という町の運動公園。パパたちはゾウさんの耳かきみたいのでボールを打つパークゴルフというお遊びに夢中さ。つまんないからブランコに乗っていたら、幕別の子供たちとお友達になっちゃった。こういうのを国際交流っていうの？。（パークゴルフ国際大会の一コマ。前列左の二人はイラクの子供たち）

62年 9

No.428

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(0155)54－2111 ●編集・企画調整課広報広聴 ☎内線359 ●印刷・ソーゴー印刷

熟年パワー全開

「まだまだ若いもんには…」いきいきシルバー人生

日本人の平均寿命は大幅に延び、今や〝人生八十年時代〟といわれています。

現在、幕別町には六十五歳以上のお年寄りは二千四百七十五人(男一千九十六人、女一千三百七十九人)います。これは全人口の一一・四%を占めますから、幕別町の九人に一人は六十五歳以上のお年寄りということになります。

人生八十年時代を迎えて、生きがいのある豊かな老後を過ごすにはどうしたら良いのでしょう。

趣味や奉仕活動をとおして、いきいきとした〝シルバー人生〟をおくっている四組の方にお話をうかがってみました。

走り続けて九年 二、三五〇キロを走破

南町 高橋 辰夫さん(70)

9月13日には フルマラソンに初挑戦

職場を定年退職したのが十五年前で、当時は年寄りのスポーツなんてなかったんです。運動しなかったんで、年々体力が減退していき、これじゃいかんと思って始めたのがマラソンだったんです。最初はいくらも走らないうちに足が棒のようになりましたが、今では三~四キロ走らないと調子が出ないですね。走り出して九年で毎日八キロほど走っています。三年目から記録をつけているんですがこれまでに一万一千三百五十キロ走っているんですよ。目標は二万キロ。ぜひ達成したいですね。

大会に出るようになったのは六十五歳の時からで、完走したあとのそう快感は最高ですよ。九月十三日に初めてフルマラソンに挑戦します。先日も練習で中里までの往復四十三キロを走ってきました。大会という目標があると練習の励みになるんですよ。これからも無理をせず、走れる限り走り続けたいですね。

(談)

夫婦そろって 社交ダンスに汗

旭町 増谷 純一さん(68) トシエさん(65)

心の充実感を 二人で分かち合う

定年退職して家で何もしないでいたんですが、腰が痛くなってきたんですよ。運動不足を痛感しましたね。家内が早くから社交ダンスをやっていたもんですから、私も始めたわけなんです。まだ三年目ぐらいで、基本をようやく覚えたところです。週に五回、社交ダンスの教室やサークルに通っています。タンゴを一曲踊れば六キロを歩くのと同じエネルギーを使ったことになるそうです。二時間ぐらい踊ると汗びっしょりになりますよ。

若い時はお互いの趣味が合わなかったんです。今は社交ダンスのほかにも、卓球やパークゴルフも夫婦で楽しんでいます。夫婦そろっての活動というのはいいもんですよ。何よりも心の充実感を共有できる——こんな素晴らしいことはないのではないでしょうか。

(談)

人生80年時代

公区内の環境美化に一役

あかしや町
的場　政楠さん(75)

草刈りにかけてはだれにも負けないと自負

自分自身の健康管理のために、四年ぐらい前から近所のあかしや近隣センターや児童館のまわりの草刈りをしています。草が伸びているのを見ると、じっとしていられなくなるんです。草刈りにかけては、だれにも負けないと自負しています。高齢者就労センターにも登録していますが、草刈り専門なんですよ。

自分のために始めたことが公区のお役に立っているようで、こんなうれしいことはありません。これからも体の続く限り続けますよ。（談）

ゲートボールに夢中の毎日

駒畠
高垣喜二郎さん(67)
ミサオさん(69)

主人に勧められて四年前からゲートボールを始めました。月・水・金と週に三回練習していますが、体を動かしていると調子がいいですね。駒畠にはゲートボールチームが三チームあって、主人と私は同じチームなんです。私の腕前のほうは、主人にいわせると「悪い方ではない」ということですから、そんなにも良くはないということでしょうかね。

大会では、勝敗よりも楽しむことに重点を置いています。夫婦そろってゲートボールに夢中の毎日なんですよ。（談）

勝敗よりも楽しむことに重点

まくべつ長寿者番付　(62.8.13現在)

東			番付	西		
依田	小川　サツ	98	横綱	95	松原　はる	依田
千住	磯部　なみ	95	大関	94	古酒　イシ	新町
青葉町	国枝　孝吉	93	関脇	93	高橋　サギ	緑町
緑町	園部　ケイ	93	小結	93	新谷　春	依田
豊町	山田　アヤ	93	前頭	92	寺山　みよ	糠内
古舞	久保英太郎	92	2	92	高垣　累二	駒畠
依田	坂　伊十郎	92	3	92	小笠原リヱ	桜町
日新	谷友小きん	92	4	92	池上　次作	緑町
依田	川口　菊井	92	5	92	岩井　タカ	中里
五位	西川勇次郎	91	6	91	片山たつゑ	中里
日新	山崎　巳作	91	7	91	小川長太郎	猿別
あかしや町	猪股　タカ	91	8	91	平出　やす	寿町
緑町	土屋　庄吉	90	9	90	永井　ユキ	緑町
明野	清信　アキ	90	10	90	西嶋　ユキ	新川

（敬称略、同年齢は生年月日による）

米寿おめでとう

今年、米寿（数え年八十八歳）を迎えられた方は、次の二十五人のみなさんです。これからも健康に留意され、ますますお元気でいてください。（五十音順に掲載）

東　タマさん　依田
荒　つたさん　緑町
依馬　アキヨさん　旭町
小川　ハツさん　中央町
小野寺　ミツエさん　依田
木川　マサヲさん　本町
木田　岩松さん　豊岡
蔵野　金祐さん　依田
黒沼　友之助さん　明倫
香田　志うさん　中央町
佐久間　ネンさん　明倫
佐藤　庵さん　駒畠
高橋　キエさん　途別
高橋　きんさん　南勢
高橋　延次郎さん　南勢
綱島　トワさん　千住
鳥谷部　タヨさん　北栄町
永澤　りのさん　旭町
林　まさゑさん　あかしや町
本庄　吉造さん　旭町
牧野　ミネさん　栄
松村　つるさん　南町
森　つるさん　日新
矢竹　シギさん　中里
山口　ハナさん　緑町

も楽しむ心はーつ

第一回 ブリヂストンスポーツ杯 パークゴルフ国際大会

7カ国195選手が参加

国際パークゴルフ協会(福田省市会長)設立を記念した第一回ブリヂストンスポーツ杯パークゴルフ国際大会が八月二十三日、町内のつつじ、サーモンのニコースに管内在住の外国人のほか東京、大阪、札幌など道内各地から愛好者が出場して開かれました。同大会には浦幌町のロランC基地隊員、帯広畜大留学生、農業研修生、英語塾講師ら管内在住の外国人二十八人、東京、大阪、札幌、滝川などの町外者八十三人と町内八十四人の合わせて百九十五人が出場しました。参加国はアメリカ、中国、カナダ、フィリピン、イラク、スリランカ、そして日本の七カ国となりました。

開会式は午前九時からバトントワラーを先頭にしての国別の入場行進で始まり、招待選手(外国人)の選手紹介が行われ、一人ひとりにスティックとボールがプレゼントされました。イラクのアブドウワハブさんの選手宣誓に続いて林町長らによる始球式が行われた後、四人一組に分かれてつつじコースと、今大会と同時にオープンした猿別川河川敷のサーモンコースから次々とスタートしていきました。外国人や町外からの参加者の中には初めてスティックを握る人も多く、最初はなかなかうまくいかない様子でしたが、慣れるに従ってバーディーやイーグル、ホールインワンまで飛び出し、笑顔でのプレーが繰り広げられました。

競技終了後には交流会が催され、ジンギスカンや幕別産のジャガイモやスイートコーンに舌づつみを打ちながら、外国人と日本人、他市町村の愛好者との親ぼくが深められました。また、お楽しみ抽選会も行われ、目玉商品のスクーターはロランC基地のキャプテンであるウォルターさんが幸運を射止めました。

成績のほうは、男子の部は十四アンダーの四人でプレーオフが行われた結果木村徳男さんが、女子の部は宮島巴枝さんが優勝し、それぞれブリヂストンスポーツ杯とともに北海道知事杯を獲得しました。外国人招待選手の部では男子がスコット・バーネスさん(アメリカ)、女子はダクシカ・スマナシリさん(スリランカ)が優勝しました。

大会には七カ国百九十五人が参加

言葉は通じなくて

国際大会の結果

つつじ、サーモンコース パー 132

一般男子の部

優　勝	木村　徳男	（幕別）	118
準優勝	小松　昌良	（〃）	118
1　位	国枝　勝一	（〃）	118
2　位	横川　　覚	（〃）	118
3　位	武田　龍雄	（〃）	120
4　位	矢野　武男	（〃）	121

一般女子の部

優　勝	宮島　巴枝	（幕別）	120
準優勝	福田登喜子	（〃）	122
1　位	金岡　信子	（〃）	128
2　位	嶋木ミサエ	（上士幌）	130
3　位	鳥倉　明子	（帯広）	130

外国人選手・男子の部

優　勝	スコット・バーネス	（アメリカ）	138
準優勝	ケネス・アームストロング	（アメリカ）	140
1　位	キャーリス・アンジュルース	（アメリカ）	142
2　位	ドーヤル・ソーヤ	（アメリカ）	148
3　位	買　永珍	（中国）	149

外国人選手・女子の部

優　勝	ダクシカ・スマナシリ	（スリランカ）	173
準優勝	トラルバ・ネディニア・カバリエロ	（フィリピン）	176
1　位	シャーナ・リー・マクドナルド	（アメリカ）	182

歓迎のことばを述べる林町長

最後に入場行進をする日本の大選手団

イラクのアブドゥワハブさんによる選手宣誓

外国人選手にはスティックとボールをプレゼント

大会長の福田省市国際協会長

大会を視察に訪れたオリンピック金メダリストの南部忠平さん（中央）

外国人選手を交えての始球式

山野辺　孝さん
（大阪市）

大変おもしろいですね。お金がかからない点がいいです。大阪ではこんな場所がないですから、北海道ならではのスポーツですね。

トラルバ・ネディニア・ガバリエロさん
（フィリピン）

面白かったわ。スコアーについては聞かないでね。来年の三月まで滞在しているので、機会があればもう一度プレーしてみたい。

山本大四郎さん
（滝川市）

滝川の老人クラブに紹介しようと思って参加したんだよ。楽しいですね。ホールインワンもやったし、気分はそう快ですよ。

ロバート・ウオルターさん
（アメリカ）

とても難しいけれど楽しいね。バーディーやイーグルもあったし、抽選会ではスクーターも当たり、最高にハッピーですよ。

英語？と日本語を交えて外国人をコーチ

パワフルなアメリカの選手

オー ノー！OBダメヨ

左から準優勝の福田さん、優勝の宮島さん
1位の金岡さん

左から準優勝の小松さん、優勝の木村さん
1位の国枝さん

大勢のギャラリーが見守る中でのプレーオフ

参加者の親ぼくが深められた交流会

お楽しみ抽選会でスクーターが当り大喜びのウォルターさん(アメリカ)

ミーのスコア間違わずにつけているかな？

国際パークゴルフ協会が設立

初代会長に福田省市氏

国際パークゴルフ協会の設立総会が、国際大会の前日の八月二十二日午後二時から国民宿舎幕別温泉ホテルで開かれました。総会には委任状も含めて三十九団体が国際協会の設立に賛同を寄せ、初代会長には福田省市幕別町パークゴルフ協会長が選出されました。

設立総会には苫小牧市、室蘭市、弟子屈町など十勝管内外から約三十人が出席したほか、既にパークゴルフを導入している長野県志賀高原の旅館組合、また、萩原茂裕・良子日本ふるさと塾塾長夫妻(埼玉県)、押塚登貴夫日本レクリエーション協会主幹(千葉県)などからも委任状が寄せられ、三十九団体の加盟が得られました。

総会では、本部事務局を幕別町教育委員会に置き、年一度の国際大会は発祥の地の幕別で開催することが決定しました。

なお、選出された役員の方々は次のとおりです。(敬称略)

▽会長＝福田省市(幕別)▽副会長＝後藤辰雄(十勝)、新田忠(新田ベニヤ工業㈱社長)▽理事＝加盟三十九団体の各代表▽会計監事＝小松昌良(幕別)、鈴木重次郎(同)▽事務局長＝前原懿(幕別)

横路知事がパークゴルフを体験

横路孝弘道知事が八月二十二日午前幕別町を訪れ、運動公園つつじコースでパークゴルフを体験しました。午前八時半にコースに到着した横路知事は、国際大会への優勝カップ(知事杯)二個を林町長に寄贈。この後、同知事はA－1・4・5ホールをまわり、ナイスショットを披露。「公園の有効利用に最適」と笑顔で感想を述べ、すっかり気に入った様子でした。

優良町産品に自信作マーク

町特産品開発推進協が推奨

デザインは町花「スズラン」

幕別町特産品開発推進協議会（森脇仁会長）が推奨する優良町産品をご存知ですか。

同協議会では地元で生産される農畜産物や加工食品、木工品などを大いに売り出そうと共に、品質の向上、新特産品の開発に積極的に取り組んでもらおうという目的で、現在、六社十一品目を優良町産品に推奨しています。

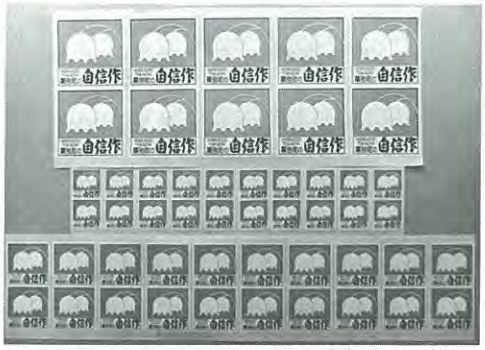
これらの優良町産品には町花である「スズラン」をデザインしたシールが交付されています。このシールには「自信作」という文字が大きく書き込まれています。希望があればパッケージなどへの印刷も許可することになっています。

また同協議会では特産品開発研究活動費補助制度を持っており、これまでにあきあじ薫製とパークゴルフ用スティックとボールの二商品の開発研究に補助をしています。

優良町産品の推奨申請や特産品開発研究活動費補助申請については随時、受け付けています。詳しくは役場開発商工課（☎54―2111・内線234）にお問い合わせください。

同協議会が推奨する優良町産品は次のとおりです。

〔新田ベニヤ工業KK〕▽パークゴルフスティック（デラックス）▽同（ハイデラックス）▽同（スーパー）〔スモークおのだ〕▽あきあじ薫製〔駒野製パン所〕▽十勝かぼちゃぜんざい▽十勝大福〔十勝ふるさと村農園〕▽ミニトマト〔杉野菓子店〕▽幕別ロマン▽ル・フロマージュ〔ホクレン十勝食品工場〕▽スイートコーン缶詰▽ゆであずき缶詰



町花「スズラン」をデザインした自信作マーク

こんにちは㉖

徳野美紀子（とくのみきこ）さん（22歳）
五位234
▼有沢呉服店▲

運動不足なのでテニスでも…

ここに勤めて4年目になります。呉服店ですのでファッションには敏感になりますね。お客様に合った品物をお勧めしていますが、商品の種類が多くてまだ覚えきれませんね。

今年の夏休みは札幌と小樽へ遊びに行ってきました。休日はドライブや買い物を楽しんでいます。運動不足なのでテニスでも始めようかと思っています。

新和小学校跡地に記念碑

除幕式に卒業生ら四十人が出席

今年三月末、八十二年の歴史を閉じた新和小学校の跡地に記念碑が建立され、八月二十五日午前十時に除幕式が行われました。

記念碑建立には地域住民が建設委員会（横山義春委員長）を組織し準備委員会を組織し、準備を進めてきました。基礎や台座はすべて地域の人たちの手づくりによるものです。

除幕式には地域の人たち、歴代の教職員、卒業生ら四十人が出席し行われました。同校の卒業生を代表して小尾一彦さんと上野要子さんが除幕すると、約六百㌔の黒みかげ石に「校跡有情」（こうせきゆうじょう）と刻まれた記念碑が姿を表しました。この題字は閉校時の及川照己校長によるもので、学舎の跡として、いつまでも八十二年の伝統が生きていることを意味しています。出席者たちは記念碑を前に、母校の思い出を語り合っていました。

卒業生ら40人が出席して行われた除幕式

白人小学校90周年記念

親子盆踊り大会

今年、開校九十周年を迎えた白人小学校が八月二十二日、旧校舎跡地の白人公園で「親子盆踊り大会」を開きました。

同大会はPTAの主催によるもので、夏休み中に親子で作ったあんどん百五十個が飾られた中に、やぐらを中心に大きな踊りの輪ができ、子供たちの心に残る記念行事となりました。

まちのニュース

盛夏の一夜を楽しんだ仮装盆踊り

盆踊り二題

幕別の夏を彩る「盆踊り大会」が幕別、札内の二会場で行われました。幕別では14・15の両日に行われ、約200人が踊りの輪をつくりました。団体では「芝桜まつり」と題した旭町第４公区が優勝しました。

札内では16日に駅前通りで行われ、約400人の踊り手が参加しました。仮装も例年以上に趣向をこらしたものが多く、団体では「宝塚・花組」と題した森京子チームが優勝しました。

新田バレーボール部40年ぶりにOB会

昭和22年から２年連続して十勝選手権を制した新田バレーボール部の40年ぶりのＯＢ会が８月８日、幕別温泉ホテルで行われました。でんぷん袋を改造したユニホームのことなど、当時の思い出を夜の更けるのも忘れて語り合いました。

花いっぱい運動を推進

中央町第三公区（矢野善七公区長）内の家々の前には、古タイヤを利用した花鉢があちらこちらに置いてあります。この花鉢、同公区の人たちによる手づくりのもので、百八個の花鉢が往来の人たちの目を楽しませています。

続・幕別ものがたり ⑥

終戦１カ月前に受けた空襲
戦中は軍需工場だった新田ベニヤ

第二次世界大戦中、新田ベニヤ工場は愛国第一五一軍需工場として、主として戦闘機用合板を製造していた。

この種の製品は今も飛行機用合板としてホビー（玩具）関係に使用されている。同工場では学徒動員や徴用ということで、旧制中学や女学校の生徒、それに町の人たちの合わせて四百人から五百人ほどの人たちが労働に従事していた。

当時、防空ごうは国道沿いに二×三㍍ほどの大きさのものが七～八つ、風呂場近くに直径二㍍で十㍍ほどの鉄パイプを埋めたものが一つ、社宅には各家庭ごとに土を掘った程度のものがつくってあった。

終戦一カ月前の昭和二十年七月十四日、帯広駅を襲った後、池田方面に向かって東進していたグラマン戦闘機八機のうち六機が突然反転して止若市街を襲った。彼らの目標は新田ベニヤ工場で、機銃掃射を行いながら爆弾数発を投下した。そのうちの一発は、現在も原木貯立池として使用している池に落ち、原木がまるで割箸のように空中を飛んだ。

その破片は線路の反対側にまで落ちた。新田神社に落ちた爆弾は、五～六㍍ほどの穴をつくり、その後雨水が溜って当時遊び場の少なかった子供たちにとって貴重な池になった。

この爆弾投下による衝撃によって窓ガラスは割れ、防空ごうのふたが飛び散った。また、機銃掃射を受けた製材事務所の赤レンガには、現在もそのつめあとが残っている。

この時の空襲で二人が負傷した。一人は六十二歳の男性で、工場の社宅付近で爆弾の破片を腰部に受けた。もう一人は二十八歳の男性で、猿別市街で防空ごうに入ろうとした際、爆弾の破片を大腿部に受け、勝山医院で摘出手術を受けた。

翌七月十五日は、本別市街が約五十分間にわたって徹底的に空襲を受けた。戦闘機は午後二時四十分ごろ札内駅付近に避難停車中の列車と札内市街に襲いかかり、汽関車を運転不能にした。また民家一戸が焼失、二カ所から火災が発生した。

終戦の一カ月に幕別と札内を襲った戦闘機による家屋や家財に対する損害は十一世帯であった。

記・ふるさと館郷土史部会
佐藤　正弘

みんなのページ

広報クイズ―⑥

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがきに書いてお送りください。

❶幕別町の全人口に占める65歳以上のお年寄りの割合は
Ⓐ8.4% Ⓑ9.4% Ⓒ11.4%

❷幕別町で今年米寿を迎えたのは
Ⓐ25人 Ⓑ30人 Ⓒ35人

❸8月23日に行われたパークゴルフ国際大会に参加した国の数は
Ⓐ3カ国 Ⓑ5カ国 Ⓒ7カ国

❹幕別と札内が第2次世界大戦中に空襲を受けたのは終戦の
Ⓐ1カ月前 Ⓑ3カ月前 Ⓒ6カ月前

❺「私の声を町長に送る旬間」のはがきで最も要望や意見が多かったことがらは
Ⓐ教育関係 Ⓑ道路整備 Ⓒ環境衛生

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①―Ⓐ)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラストや漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先=〒089-06 幕別町本町130 役場内・広報係

★締め切り=9月15日(15日の消印有効)

★前回の正解は、①―Ⓒ、②―Ⓑ、③―Ⓑ、④―Ⓒ、⑤―Ⓐでした。応募36通で全問正解は27通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

大坂朋子(12・あかしや町) 高橋佳奈美(12・若草町) 川向零子(13・錦町) 今井豊志(35・暁町) 川上尚貢(?・春日町)

ダガヤで一言

JR札内駅のコーヒー&ファンシーショップ・SATSUNAI…。小さな駅でも多くの人が利用して幕別町注目の場所にしたいですね。おしらせ、議会だより、広報まくべつの三紙のとじ方がまちまちですね。右側にとじ穴があった方が便利だと思うのですが。⇩暁町 今井豊志(三五)

♣…三紙とも性格が違いますので同じ型式というわけにはいかないのが現状です。ご面倒ですが別々にとじていただければと思います。

広報クイズを解くと幕別町のことがわかるようになっているところが気に入っています。(五百円の図書券くれるところも好き!!)これからも楽しいクイズを作ってください。⇩文京町 進藤和奈(一二)

札内にもトレーニングセンターの様なものが早くできればいいですね。⇩泉町 水野弥寿(三三)

♣…現在の計画では、昭和六十三年、六十四年の二カ年で建設の予定です。もうしばらくご辛抱願います。

ほんの一言

☺…これではがきを出すのが三回目ですが一回ものりません。図書券がほしい!⇩桂町 上田めぐみ(九つ)

♣…いつもかわいいイラストをありがとう。次回も応募してね。

☺…もっともっと幕別のことが知りたいです。ガンバッテネ。⇩駒畠 久保沼悦子(一二)

☺…これからもがんばって続けてください。⇩相川 山田早恵子(一四)

☺…図書券当たりました。どうもありがとうございました。⇩古舞 久保竹子(三九)

♣…交通安全標語ありがとうございました。

☺…またクイズをだしてね。⇩文京町 野宮尊志(一〇)

九月九日は救急の日
救急車の正しい利用を

九月九日は救急の日です。昨年、町内での救急車の出動件数は二百五十九件でしたが、その中の一六・二%の人が救急車を利用する必要性が無かったという結果がでています。タクシー替わりに救急車を利用することがあれば、本当に救急車を必要としているひん死の患者が救急車を利用できないこととなりますので、正しい利用を心がけてください。

最近は病院前処置の大切さがいわれています。その場にいた人の初期処置が植物人間を作らないためには最も大切な処置であるといわれています。救急医療を必要とする場面(交通事故、溺水、脳卒中等)はいつ起こるかもしれません。他人事とは考えずに、いつでも自分が救急処置を行える知識と技術を身につけておきたいものです。消防署では各公区、団体、職場などの希望に応じて救急講習会を開催しますのでご連絡下さい。(消防署54-2434)

また、病院の問い合わせについては、二十四時間体制の救急医療情報システム(23-1199)をご利用ください。

私の声を町長に送る旬間――
道路整備など百三十件

広聴はがきで町づくりに参加―町民のみなさんが、日ごろから町政に対して思っていること、町づくりへのアイデア、将来の希望、意見などをお聴かせいただく「私の声を町長に送る旬間」を実施しました。

八月五日から十四日までの期間中に八十八通・百三十件の意見や要望が寄せられました。いただいたはがきの男女別では、男性六十二人、女性二十六人で男性が七〇％を占めています。年代別では、六十代が二十一人と最も多く、五十代・十七人、三十代・十三人、四十代・十二人の順となっています。

内容別件数では、「家の近くの道路を補装に」、「町道の管理を万全に」など道路整備・管理関係が二十一件、「ゴミステーションの設置」など環境衛生関係が十六件と上位を占めています。続いて教育関係が十件、町づくりに関して十件、公園整備関係十件、交通安全関係十件となっています。

たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

寄せられたはがきは、町長がすべて目を通し、担当課と協議して回答書を作成し、町長の意見を加えて本人へ直接回答します。無記名のものは回答できませんのでご了承ください。

なお、昨年は六十四通・百二件の貴重なご意見などをいただいています。

使用料等審議会委員に三十人を委嘱

上・下水道や簡易水道などの料金改定を審議する幕別町使用料等審議会の委員三十人が決まり、七月二十二日に第一回の審議会が開催され、会長に木川拓二氏、会長職務代行者に高橋次郎氏が選出されました。委員に委嘱された方々は次のとおりです。

（敬称略、五十音順）

飯島正勝（宝町）伊藤正則（文京町）猪股浩一（あかしや町）大上長治（旭町）小椋正（青葉町）加瀬谷節子（南町）木川拓二（本町）貴戸啓一（旭町）小室春雄（共栄町）斉藤喜志雄（旭町）清水治夫（中央町）小路俊勝（南町）須田赳（錦町）高橋次郎（緑町）高橋精一（若草町）高橋ユキ（緑町）高山信道（幸町）棚橋昭二（相川）中村修（春日町）長田洋一（駒畠）林博信（明倫）平林仙之助（駒畠）広瀬美佐吉（依田）福田省市（寿町）藤田和子（桂町）古酒昭治（新町）細川勝美（中央町）水野正盛（泉町）森原茂美（日新）山田定雄（五位）

ご寄付ありがとうございます

■町へ…

▽森田栄子さん（寿町）から二十万円

■社会福祉協議会へ…

▽鳥せい札内店（中央町）から三万二千百円　▽中島基博さん（三重県）から三百三十円　▽幕別町民ゴルフ大会（笹井俊治大会長）から三万二千百円　▽二川要さん（幸町）から五万円　▽木内英子さん（中里）から三万円　▽三田富吉さん（桜町）から電動ギャジベット（三十万円相当）　▽新田俊男さん（弘和）から五万円　▽横澤芳子さん（軍岡）から三万円　▽笹原明雄さん（豊岡）から五万円　▽幕別町商工会札内支部青年部から十万六千五百五十四円

■老人クラブへ…

▽武田衛さん（旭町）から旭町老友会へ二万円　▽石原利男さん（中央町）から札内寿会老人クラブへ五万円　▽二川要さん（幸町）から中央老人クラブへ三万円　▽松田初男さん（軍岡）から南町老人クラブへ三万円　▽笹原明雄さん（豊岡）から稲志別老人クラブへ二万円、中央老人クラブへ三万円、日新老人クラブへ二万円　▽新田俊男さん（弘和）から駒畠老人クラブへ五万円　▽松岡明さん（糠内）から糠内老友会へ三万円　▽古谷愛子さん（緑町）から緑町老人クラブへ二万円

■その他…

▽岡田和夫さん（中央町）から婦人ボランティア連盟へ一万円（七月十八日～八月十七日分）

ひと

㉚ 商店街の活性化を図る

町商工会札内支部長
宗内　信一（むねうち　しんいち）さん
（中央町457・56歳）

「支部のメーン行事は八月十六日に開催した盆踊り大会です。年々活発化してきて、今年も盛り上がりました。これも地域の皆さんの協力のおかげです。感謝しています。

盆踊り大会は今年がちょうど二十回目だったんです。新しい企画として跳び手十八人による縄飛び大会や札内横断ウルトラクイズを行いました。支部の青年部の人たちが主体となって企画したんですが、好評だったようですね。縄跳び大会は見ている方も力が入って一緒に跳んでいるような気持ちになりました。来年もみんなに楽しんでもらえる催しにしたいですね」

◇　◇

「商店街の活性化という面では、七月末に若手経営者の人たちの努力により、ＪＲ札内駅舎に店舗がオープンしました。駅前通りが明るくなりましたね。中堅の人たちが中心になって頑張る時代になりましたね。

商店主の人たちの集まりで商店会というのがあるんですが、九月五日にはこの商店会の主催で駅前でカラオケ大会も行われます。たくさんの人が参加して、自慢のノドを響かせてほしいですね」

◇　◇

昭和六年生まれ。お母さんと奥さんと息子さんの四人暮らし。